



# H167-205-204 グラデーショントート



デザイン/ハマナカ企画

☆でき上がり寸法 口幅約26cm、深さ約19cm、マチ約8cm  
チューブベリ(30m巻)

<2020S/S>  
この作品はレシビ4枚です(4-1)

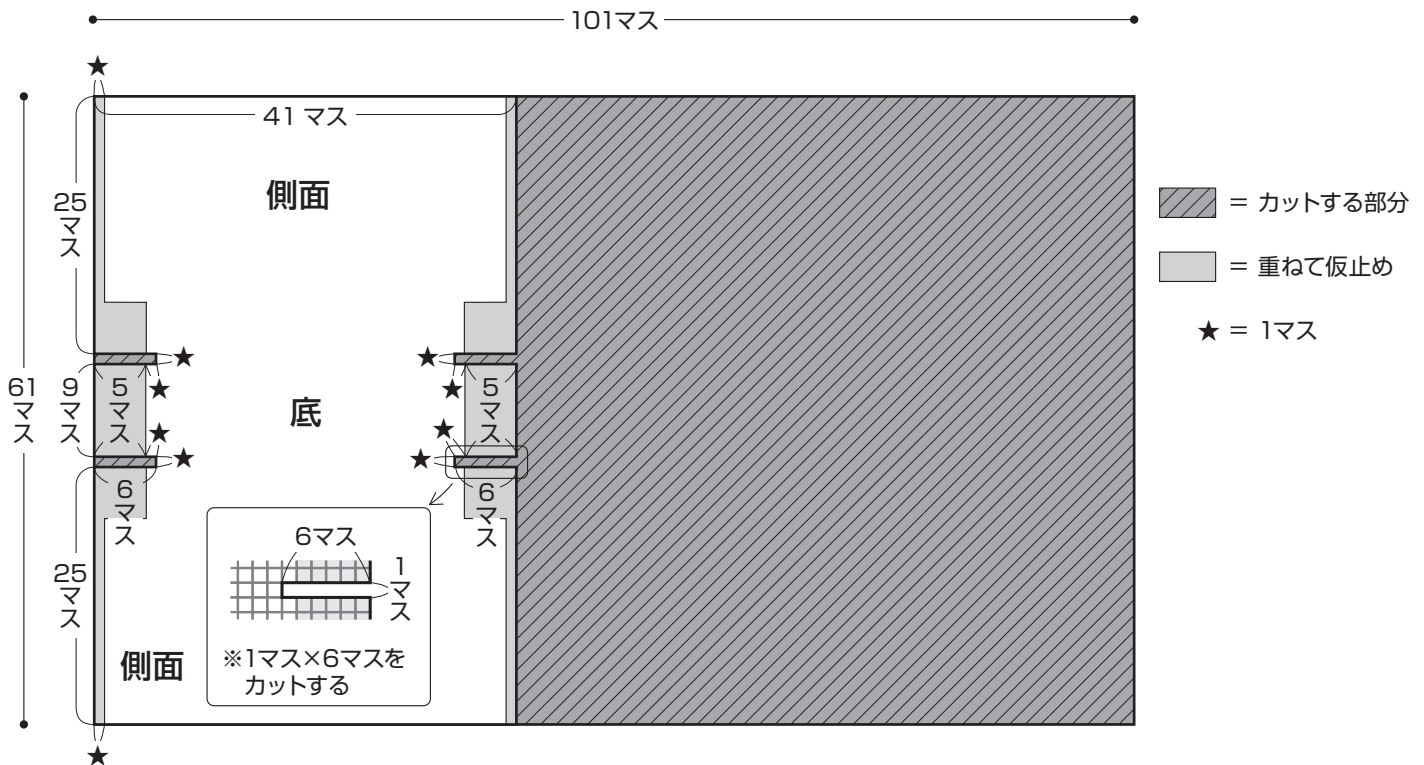
☆使用糸	使用色	使用量
	パステル系(No.1)	1巻

☆副資材 ・ハマナカあみあみファインネット(H200-372-101)金………1/2枚  
☆用意するもの クラフトハサミ(H420-001)、ボンド(H204-513)、メジャー、洗濯バサミ

※こちらの作品はあみあみファインネットハーフサイズでは制作できませんのでご注意ください。

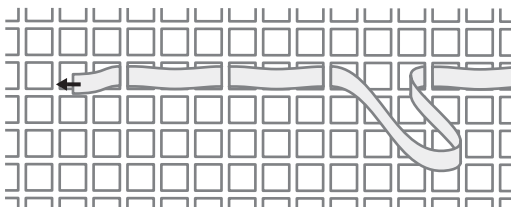
## 1 ネットをカットし、組み立てます

下図のようにネットをカットし、側面は両端を1マスずつ、底は側面と5マス重ねて別糸で仮止めしておきます。

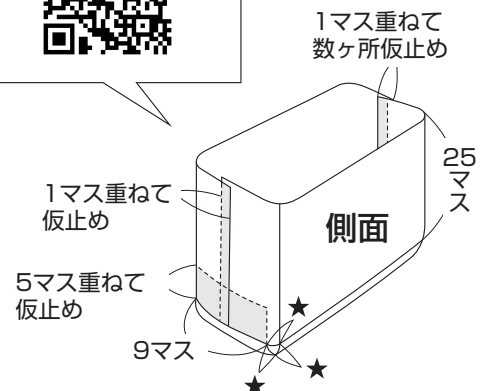


### <テープ手芸の基礎 1>

チューブベリに表裏はありません。ネットを2~3回拾ったら、テープをまっすぐ引きます。無理に引くとネットが切れる場合があります。  
※ファインネット金・銀は多く通しすぎると、摩擦で表面の箔が剥がれることがありますのでご注意ください。



余ったネットで作れる  
ネット固定パーツをご紹介します!



## 2 テープをカットし、ネットに通します

チューブベリを指定の長さ・本数にカットします。  
 テープ手芸の基礎(4-1/4-3)を参照しながら、側面・底ともに  
 チューブベリを1本ずつ交互に通します。  
 テープの端にはボンドをつけてカットします。

### テープカット数

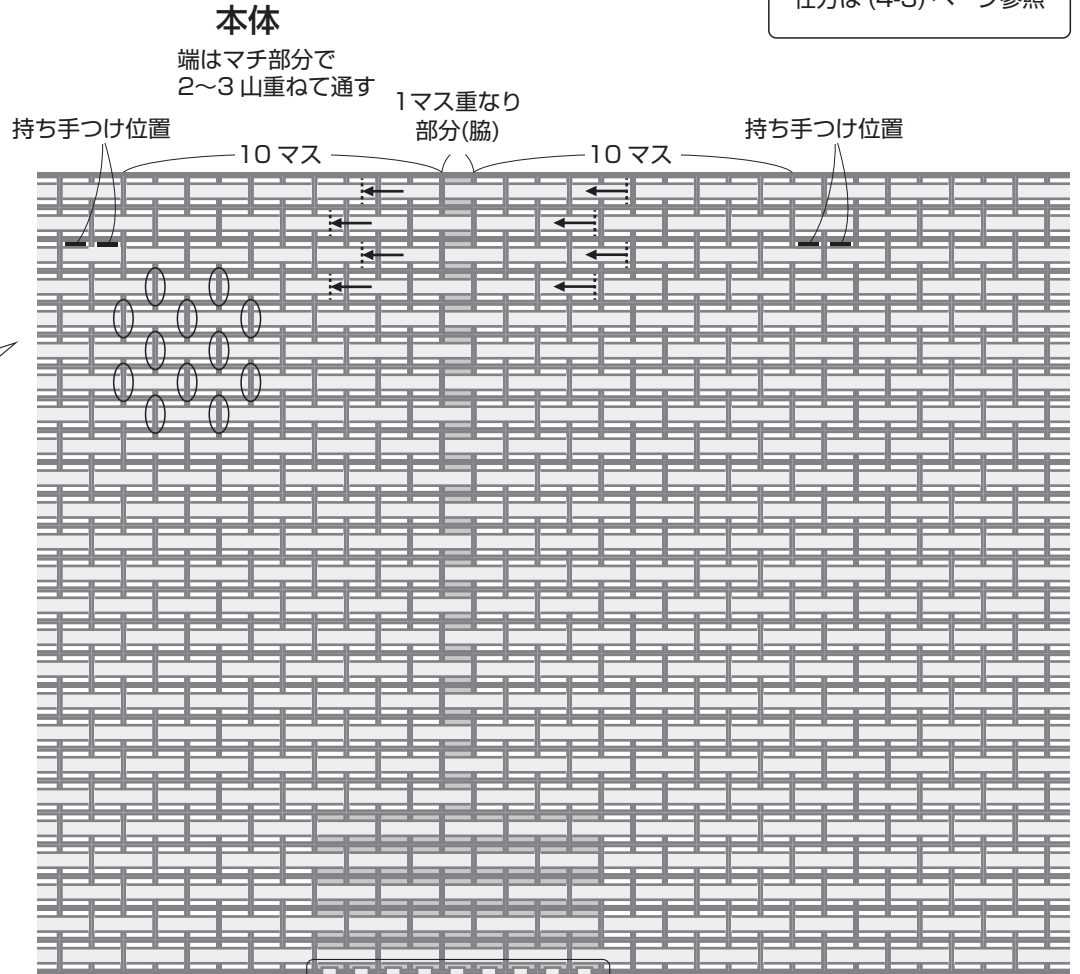
側面	70cm×25本
底	37cm×11本

—— = チューブベリ

← = 通し始め位置

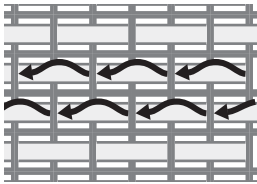
← = 通し終わり位置  
 (テープをカットする)

テープ端の始末の  
 仕方は(4-3)ページ参照



### 側面の通し方ポイント!

側面は上から順に通します。  
 通すときは「ネット1本  
 とぼして1本拾う」の  
 くり返しです。  
 1段ごとに通す位置を  
 1本分ずらします。  
 ネットが1本ずつ交互に  
 できてきます。

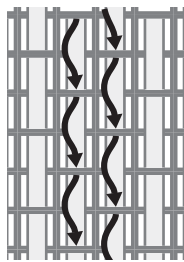


※スペースの都合上、側面の  
 通し方図を省略しております。

### 底

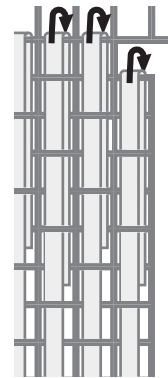
### 底の通し方ポイント!

底はテープの端を約10cm残して  
 通し始めます。通すときは、「ネット  
 1本とぼして1本拾う」のくり返し  
 です。1段ごとに通す位置を1本分  
 ずらします。ネットが1本ずつ  
 交互に表にできてきます。



### 底のテープの始末 ポイント!

底のテープの両端は  
 図の位置までテープを  
 通して裏側へ折り返し  
 ます。2~3山重ねて  
 カットします。



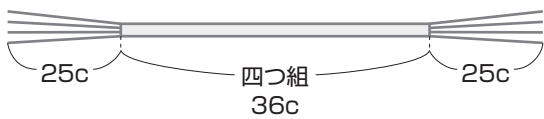
底中央の2本は同じ位置を通す

### 3 持ち手を作ります

H167-205-204(4-3)

チューブベリで四つ組の持ち手を2本作ります。

持ち手 (2本) チューブベリ (100cm×4本) を2組

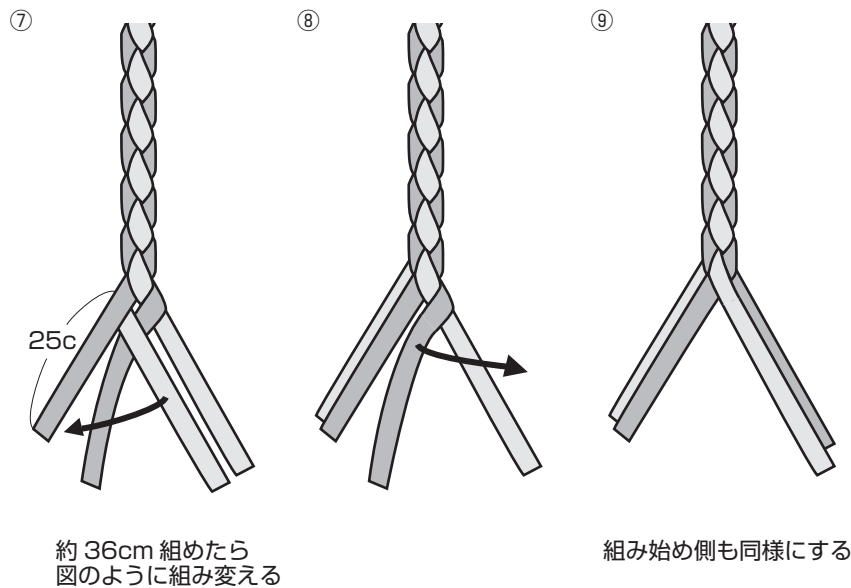
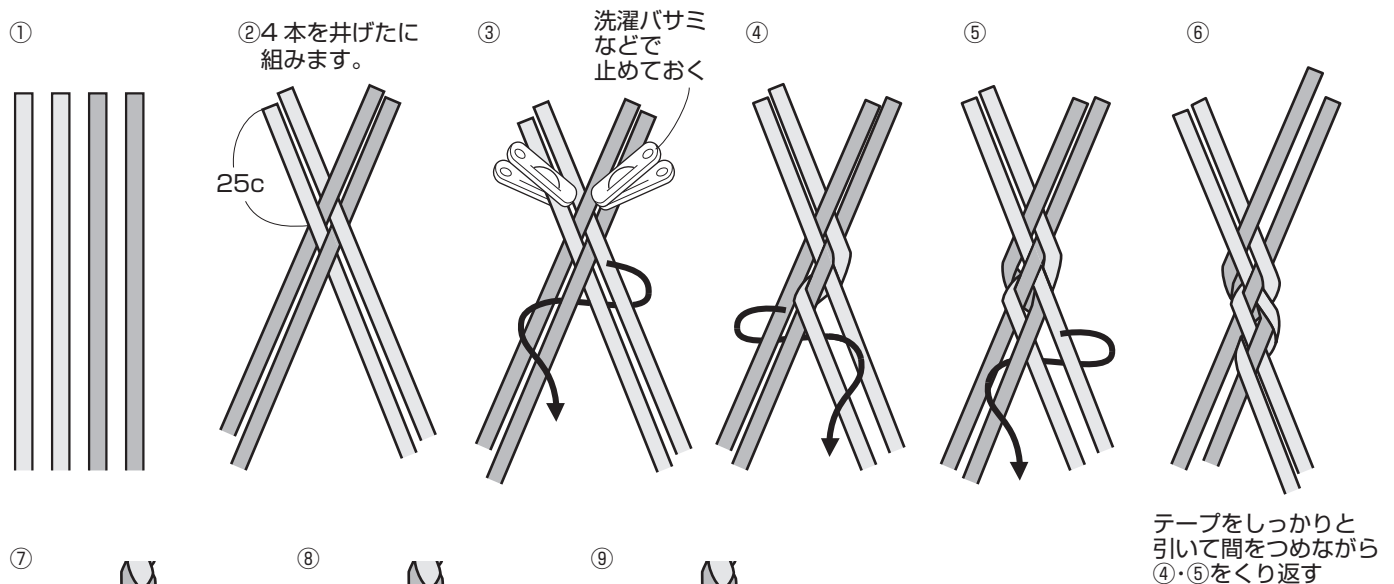


#### テープカット数

持ち手 100cm×8本

#### 〈四つ組の組み方〉

※わかりやすいよう、テープの色を変えています



**途中でわからなくなったら**

最後の組み目を見て、上に重なっているテープ側にあるもう1本のテープを動かします。

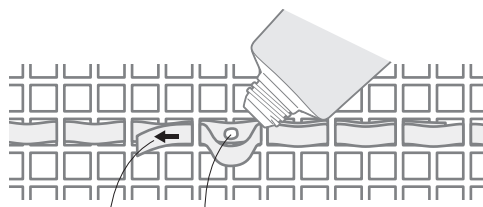
上に重なっているテープ

#### 〈テープ手芸の基礎2〉

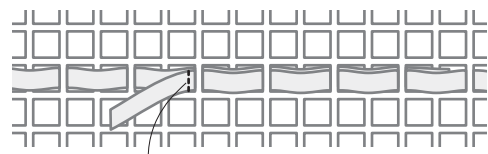
通し終わりは、5cm程度重ねて通しボンドを少量つけ、根元でテープをカットします。  
※ボンドをつけすぎないように注意してください。

#### ボンドがつけにくいときは...

ボンドから直接つけにくい時は紙などに少量出してつまようじ等先の細いものでつけましょう。



②テープを引く ①ボンドをつける



③カットする

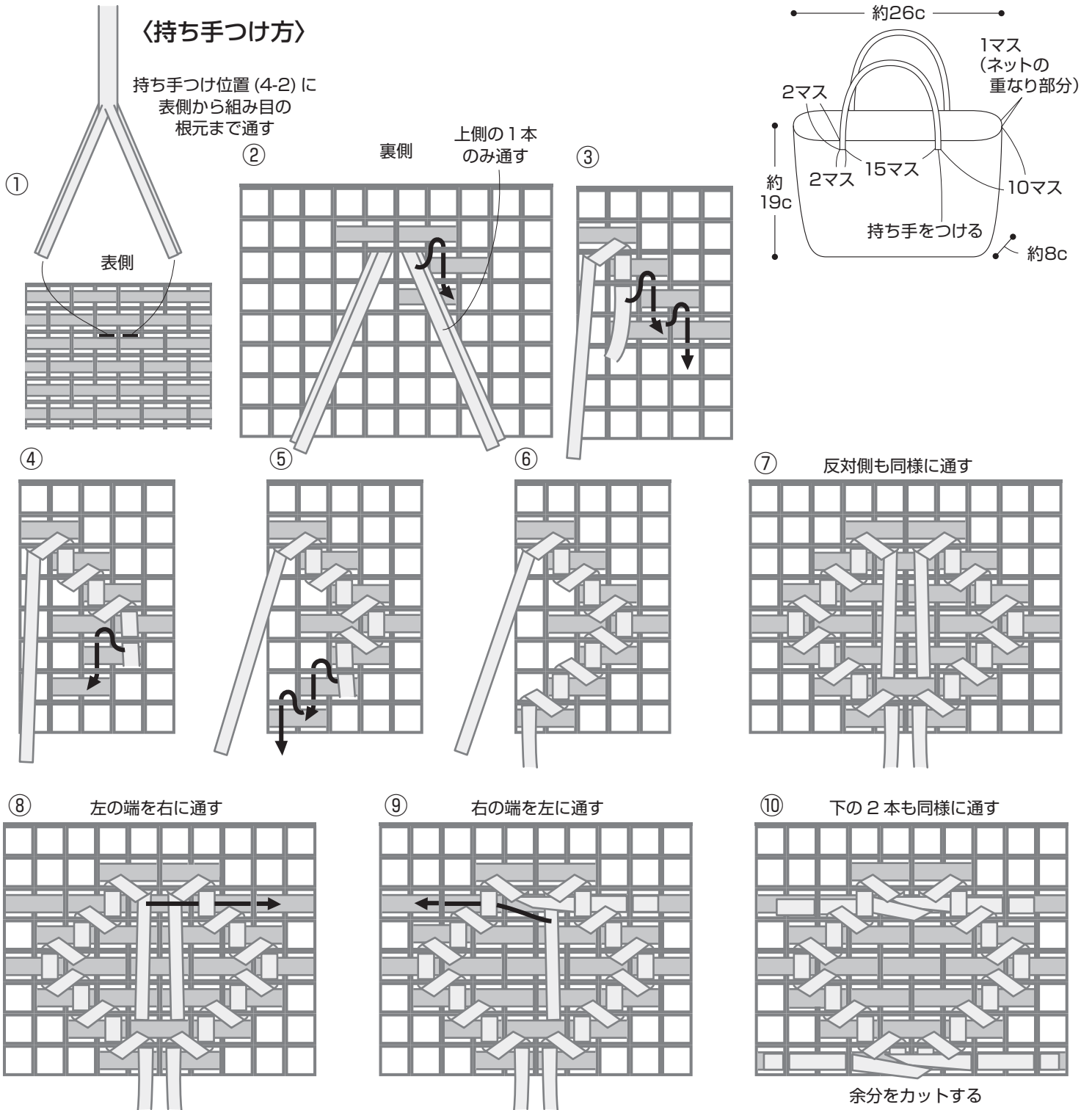
#### 4 本体に持ち手をつけます

H167-205-204(4-4)

本体側面に持ち手をつけます。

##### 〈持ち手つけ方〉

持ち手つけ位置 (4-2) に  
表側から組み目の  
根元まで通す



##### 反対側の始末の仕方

